

天童市シルバー

2024 第64号

令和6年1月15日発行

編集発行／
公益社団法人天童市シルバー人材センター
〒994-0013 山形県天童市老野森二丁目6番3号
天童市総合福祉センター2階
電話 (023) 654-7388 FAX (023) 652-0213
ホームページ <https://webc.sjc.ne.jp/tendo/>
メールアドレス tendo@sjc.ne.jp



迎春

目次

- 新年のごあいさつ 2
- シルバー人材センターとはどんなところ? ... 3
- 60歳以上の皆様へ／発注者の皆様へ ... 4
- お仕事紹介 5
- シルバー活動紹介 6
- Silver Life テーマ：私の健康づくり ... 7

働く喜び・生きがい・健康増進

会員さん募集中!





年頭の挨拶

理事長 近藤 壽一

新年あけましておめでとう
ございます。
会員の皆様におかれましては、御家族の皆様共々、お健やかに新春をお迎えの事とお慶びを申し上げます。
旧年中は基本理念の下、安全就業と健康維持、そして各種諸活動にも御協力をいただき御礼を申し上げます。天童市シルバー人材センターは市民の皆様をはじめ、行政並びに関係諸機関、各事業所の御支援・御協力の下に運営され

ておりまして、日頃のご厚情に改めて感謝と御礼を申し上げます。
当センターが「天童市高齢者事業団」として発足してから38年になります。シルバー人材センターは、急速に進む高齢化社会から発想された就業システムです。また、働く意欲が溢れる高齢者のライフスタイルに合わせた仕事を提供すると共に、地域のボランティア活動をを通じて、健康で生きが

いのある生活の実現と、活力ある地域社会づくりへの貢献を目的とした「公益社団法人」であります。これからも地域社会のニーズに的確に対応しながら、地域の担い手・働き手として市民の皆様信頼され、存在感を持たれる事業運営に努めて参ります。
さてシルバー人材センターにとつて令和6年はどのような一年となるのでしょうか。インボイス制度に引き続き、フリーランス新法の施行など取り巻く社会環境は厳しさを増しております。その一方で、少子高齢化による労働力人口の減少が進み、労働生産性の維持・向上を図るためには、

長年にわたり培ってきた豊かな知識と経験を持ち合わせているシルバーの役割がより増大するものと思われれます。私たち役員一同は、おかれた社会環境を認識しながらも創意工夫を凝らし、市民の皆様期待と要望に応えられるよう努めて参ります。
結びに、人生100年時代の到来と言われておりますが、会員の皆様「融和」「心」を合言葉に、心身ともに健康第一で安全就業に努めていただき、益々御活躍されることを祈念し、新年の挨拶といたします。



新年のごあいさつ

天童市長 山本 信治

あけましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

天童市シルバー人材センターの会員及び職員の皆様におかれましては、令和6年の新年を健やかに迎えられることを、心からお慶び申し上げます。また、日頃から、市政運営に対しまして格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが5類に引き下げられ、社会活動が本格的に再開した年でありました。少子高齢化が進み、さらに、コロナ禍によって人間関係や地域におけるつながりの希薄化に拍車がかかる中、地域が活力を取り戻すためには、高齢者の皆様を始めとした多様な働き手の参画が必要不可欠であり

ます。
会員の皆様におかれましては、これまで培ってこられた豊富な知識・経験・技能を活かしながら、地域の支え手として、ますます御活躍いただき、引き続き元気で活力あるまちづくりにお力添えをお願い申し上げます。
市としましては、将来都市像「笑顔にぎわい しあわせ実感 健康都市」とともに明日をひらく「てんどうく」の実現に向け、互いに助け合い、生涯にわたって誰もがいきいきと安心して暮らせるま

ちづくりを推進すると共に、高齢者の皆様活躍できる場を創出いただいている貴センターの活動を今後とも支援してまいります。
貴センターにおかれましては、引き続き「自主・自立・共働・共助」の基本理念の下、会員の皆様の生きがいづくりや社会参加の促進に尽力されますようお願い申し上げます。
結びに、シルバー人材センターのますますの発展と、会員並びに職員の皆様の御健勝を祈念して、新年のあいさつといたします。

シルバー人材センターとはどんなところ？

シルバー人材センターとは？

■一般家庭や民間企業、公共団体などのお客様より高齢者にふさわしい仕事（臨時的・短期的または軽易な仕事）を有償で引き受け、登録している会員へ働く機会を提供しています。

■高齢者が「働くこと」を通して喜びや生きがいを感じながら、健康の維持・増進を図り、活力ある地域社会づくりへの貢献、現役世代の下支えなどを推進することを目指しています。

🔗 シルバー世代の働く喜びと社会参加を応援します！ 🔗

シルバー人材センターのしくみ



※配分金…センターが会員に対して払う報酬のこと。

天童市シルバー人材センターには、475名（令和5年12月15日現在）の会員が登録し、今日も元気に活動しています。

新規会員
一緒に元気に働きませんか？
募集中！

お仕事 気軽にまずはご相談ください！
募集中！

発注者の皆様へ

— シルバー人材センターに
仕事を依頼するには —


■お申し込みから仕事の実施までの流れ

- Step 1** お申し込み
- まずはお電話にてお問合せください。シルバー事務所への来所やメールでも受け付けています。
TEL 023-654-7388
✉ tendo@sjc.ne.jp
- Step 2** お見積り・ご契約
- 作業内容や条件等を確認した上で、契約方法を検討し料金の見積もりをします。場合によっては、下見をさせていただく場合もあります。同時に、対応できる会員を紹介いたします。
- Step 3** 就業（仕事の実施）
- 契約に基づき、シルバー会員が業務を実施します。
- Step 4** ご請求・お支払い
- シルバー事務所より請求書をお送りしますので、コンビニ等でお支払いください。指定口座へのお振り込みも可能です。会員が直接料金をいただくことはありません。

60歳以上の皆様へ

— シルバー人材センターに
入会するには —

■入会手続きから就業までの流れ

- Step 1** お問い合わせ
- 事前に電話またはHPにて入会説明会への参加申し込みをお願いします。
TEL 023-654-7388
- HPはこちらから▶ 
- Step 2** 入会説明会への参加
- 毎月2回、午前10時より入会説明会を行います。センターの仕組みや働き方などを説明します。開催日に都合が悪く参加できない方には、個別説明の対応もしております。
- Step 3** 入会手続き
- 入会申込書の提出、会費納入などの手続きをし、会員登録が完了となります。
- Step 4** 就業・その他の活動
- 就業の機会を広げるためにもさまざまな仕事に挑戦しましょう。

よくあるご質問

～仕事を依頼したい方～

- Q 1** 仕事を依頼してどのぐらいの期間で対応してもらえますか？
- A 1** 作業内容や条件等を確認し、場合によっては下見させていただいた上で対応できる会員を紹介いたしますので、当日や翌日の作業は難しいです。また、作業内容によってはご注文が集中する時期もあり、しばらくお待ちいただく場合もあります。
- Q 2** どのような仕事でも引き受けてもらえるのですか？
- A 2** 危険・有害な作業や高所作業など高齢者にふさわしくないと判断される場合や対応できる会員がない場合にはお断りすることもあります。

～入会をご検討している方～

- Q 1** 入会するのに条件はありますか？
- A 1** 天童市内にお住まいの原則60歳以上の方で、健康で働く意欲があり、シルバー人材センターの趣旨に賛同いただける方であれば、どなたでも入会できます。まず入会説明会にお越しください。
- Q 2** 就業時間や日数はどうなっていますか？
- A 2** 2～3時間の短時間就業が基本となります。中には、午前9時から午後4時までの定期的な就業もあります。いずれにしても臨時的・短期的・軽易な作業です。
- Q 3** 収入はどのくらいになりますか？
- A 3** 作業の難易度や社会的にふさわしい金額を考慮した上で、発注者と交渉の上決定しています。ただし、収入の保証はありません。
※就業例：1日3時間の清掃業務で月10日働いて約2万5千円程度の配分金（報酬）となります。

お仕事紹介

管理分野



- ・建物管理
- ・自転車整理

技術・技能分野



- ・植木剪定・雪囲い
- ・障子/襖張り替え



事務分野



- ・賞状書き
(全文、部分、名入れ)
- ・通行量調査

サービス分野



- ・市報区分け・梱包
- ・学童保育補助
- ・福祉/家事援助サービス
(個人宅清掃、ごみの搬出、
買い物支援など)

一般作業分野



- ・草取り/草刈り・除雪作業
- ・果樹農作業(摘果、収穫、箱詰めなど)
- ・屋内清掃(福祉施設、民間企業、公共施設)
- ・屋外清掃(駅・公園トイレ)・屋内外軽作業



※上記は現在当センターにて実施している仕事の一部となります。

お客様の声



天童地区学童保育協会 事務局 芳谷 美紀 様

私たちは、昭和51年より天童市の委託事業として「ただいまー」と小学校から帰ってくる子どもたちの放課後の生活を守り、仕事で毎日忙しいその保護者の子育てサポートを行っております。令和5年度は、天童地区内の学童保育所14カ所を運営しています。

7年ほど前に、地域の子育て支援の充実を図るために職員常時複数体制の確立と開所時間の延長を行い、午後7時まで保育にあたる職員の確保が必要となったことがきっかけで、平成28年から天童市シルバー人材センターの方々よりご協力をいただいております。

現在は5施設で7名の会員さんにお世話になっており、みなさんの得意を發揮していただきながら、子どもたちのあそびの相手や見守り、施設内の環境整備をお願いしています。温かい目線で子どもだけではなく職員とも関わってくださり、今ではすっかり学童保育所の生活にはなくてはならない「ほっとできる」存在となっている会員さん方です。

活動紹介



シルバーアート展

10月14日(土)、4年ぶりにいきいき・ふれあい健康福祉まつりが盛大に開催されました。天候にも恵まれ、多くの方が訪れとても賑やかなものとなりました。シルバーの事務所内には「シルバーアート展」を出展。会員の皆さんが趣味で作った数々の作品を展示し、多くの方に見ていただきました。広報委員会は入会相談ブースを設け、ティッシュ配布を行いながらシルバー事業のPRに努めました。

(庄子 記)



シルバーの日 ボランティア活動

10月20日(金)にシルバーの日ボランティア活動として県総合運動公園で除草作業を行いました。今年は記念すべき20回目の開催で、午前9時に約100名の会員が集結しました。市長ならびにモンテディオ山形の社長様よりご挨拶をいただき、その後1時間程の作業で見違えるほどきれいになり、改めてシルバーパワーを感じました。

(庄子 記)



地域班活動

35ある地域班が4年ぶりに活動を再開しました。北久野本各班は4班での合同奉仕活動を計画し、11月4日(土)午前7時に地域の活動拠点である市立天童北部公民館に18名が集まりました。班長の作業開始合図の後、1週間後に開催予定である公民館主催の文化祭に向けて、参加者は除草や落葉掃き作業など気合を入れて行いました。作業後には、植え込みや花壇などは見違えるほどきれいになりました。

(大泉 記)

会員拡大広報活動

10月20日(金)、25日(水)の両日、市内スーパー店頭にて4年ぶりに会員拡大広報活動を行いました。買い物客にチラシ入りのポケットティッシュを配りながら、会員の募集と仕事の依頼を呼びかけました。私が担当したところは、特売日のためか、私達がシルバーパワーを発揮したためかお客様の入りがよく作業は1時間足らずで終了しました。この活動で会員がすぐ増加するとは思いませんが、今後も継続することが大事です。なお、このとき、50数年ぶりに中学時代の同級生と再会できたことや個人的にボランティアで開催している



史跡めぐりにいつも参加してくれている人との出会いなどがあり、シルバー活動を通じての人の縁と絆を感じました。今後もこの縁と絆を大切にしていきたいと思えます。

(佐久間 記)

もみじ会 そば打ち研修

12月14日(木)、人気のそば打ち研修が4年ぶりに「ゲソ天付き」で復活開催されました。福祉センターの調理実習室に35名の会員が集結。後藤健講師による研修を受けた後、5班に分かれて実習に入りました。粉と格闘の末に打ち上がった二八蕎麦が、茹でられ冷水で締められる。打ち手によって蕎麦の太さがまちまちなのもまた楽しい。



「本鉢三年、延し三ヶ月、切り三日」といわれる蕎麦打ちの技を、わずか2時間でマスターしてしまうのだからシルバーは凄い。会食の場を和室に移し、打ちたての蕎麦に会員一同舌鼓を打ちました。

(伊藤 記)



気力・体力は癒しの 日帰り温泉で

会員 山口 隆
(東長岡班)

入会して3年、巡る季節の中でさくらんぼ、ラ・フランスそしてりんご等の果樹園でのお手伝い、高齢者宅の除雪を担当しています。

春から秋深くまでは、真夏を除き芽かき、摘果、袋掛け、葉摘み、収穫と果物毎の季節の作業があります。初夏の晴れた朝は清々しく、また園地で食べる仲間との昼ご飯はピクニック気分です。降雪の朝は、力仕事の雪片付けです。しっかりと汗をかきまです。お陰様で腹部は2センチ締まり、腕力、脚力は維持されているように感じます。

とは言いましても果樹園では単一継続作業が主です。今年の6月、7月のように気温が極端に上昇しますと体力は落ち、気力は萎えます。特に脚立の昇り降り足裏、ふくらはぎに疲れが溜まります。除雪では除雪車の寄せ残す雪と氷の塊に往生し、腕と腰に負担がかかります。

当センターでは若輩者の私ですが、世間では年齢

も見た目もう立派な高齢者なんです。一晚寝れば翌日は平気とはいきません。

作業は無事これ名馬で、継続のため一日一日の体力回復が重要です。また体力を回復しなければ翌日への気力が湧きません。

そこで特効薬とまで大袈裟ではありませんが、私のルーチンは日帰り温泉です。湯あみは理屈抜きで心身を癒してくれます。元々隣県も含めドライブがてら温泉入浴には好んで出かけていました。今は、住まいから西方に向かい、市内、中山、大江の近隣5か所から気分次第で行き先を決めます。両手足を思いっきり精一杯伸ばし、筋肉をゆっくりほぐし、ひと汗かき体調を整え気力を持ち上げます。

果樹園は人海戦術ですし、除雪は前期高齢者が後期高齢者宅のお助けマンです。健康を維持し、天童の美味しい果物や冬の安全なお出かけの一助になればとの思いも込め、今日はホームグラウンドの「ゆびあ」で大きな湯船に浸かりゆったりとした時間を過ごしてきます。



入浴券のいろいろ

Silver Life ~シルバーライフ~

テーマ:私の健康づくり



紅葉の天童と 私の健康づくり

会員 庄司 豊子
(駅東班)

シルバーに入会してあっという間に15年が経ちました。シルバーでは、広報委員としての活動がメインです。広報委員会でも年2回発行している広報紙の作成では、会員の方の様々な就業の様子やその他の活動を取り上げ、時には現地取材やインタビューなども行い、同じ会員としてとてもいい刺激を受けています。



そんな私の健康づくりは、ウォーキングです。毎日3,000歩を目指して歩くのを目標とし、天気が悪くない限りほぼ毎日舞鶴山

周辺を歩きます。天童市の中心に位置する「天童公園 舞鶴山」は、数年前に周辺一帯がきれいに整備され、市民に親しまれる憩いの場となっています。4月には桜、6月にはアヤメが咲き揃い、11月から12月の紅葉はみごとです。

山のふもとの愛宕沼から出発し、四季折々の風景を楽しみながら足を進めます。沼で羽を休めている鴨の数を数え、運が良ければカモシカの親子と出会うこともあります。その日の体調にあわせながらコースを変えていますが、調子のよい日には舞鶴山山頂を目指します。急がず焦らず、自分のペースで自然を感じながら進んで行くことが、自分なりの長続きの秘訣です。佐藤千夜子の顕彰碑からもみじ園を通って人間将棋の会場まで足を伸ばすと、月山や朝日連峰を一望することができます。日頃から目にしている山々ですが、山頂の開けた場所で改めて壮大な山々を目にすると、とても清々しい気分になります。この日も徐々に色づく山々の木々を眺めながら山頂を目指しました。

ほぼ毎日歩いている舞鶴山周辺ですが、1日として同じ景色の日はありません。散歩している人々も違いますし、花々や木々の様子も少しずつ違います。だからこそ、楽しいのだと私は感じます。「楽しみながら健康を維持できている。」これに勝るものはありません。冬期間は休みになりますが、また春が来たら再開する予定でいます。

新年の俳句から

松過ぎの又も光陰矢の如く

(まつすぎのまたもこういんやのごとく)

【解説】

高浜虚子(1874-1959)は明治、大正、昭和と生きた俳人。今もなお俳壇の巨人である。俳号の『きよし』は本名の清からとった。

松過とは、門松、注連飾りが取り払われた後をいう新年の季節である。これを境に平常の生活が戻ってくるはずなのだが、

松の内(の)のゆつたりとした時間から、光陰矢の如き日常の時間へと切り替わるときの心もちを詠んだ。「又も」に実感がある。

新年の季語はほかに、初夢、年賀状、お年玉、雑煮、すごろく、新年会などがある。

伊藤 寛 二(会員・俳人)

新年もよい年と
なりますように...

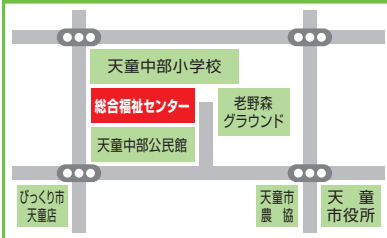
毎年恒例の当センター門松班による門松製作。今年は大計74基の門松を8名で約1か月かけて製作しました。新年がよい年になるように願いを込めて胴体のコモ編みから一つひとつ丁寧に製作しています。今年酒田市シルバー人材センターで育てた松を飾りつけに使用しました。



お問い合わせ

お電話・FAXでのお問い合わせ
TEL 023-654-7388
FAX 023-652-0213
メールでのお問い合わせ
tendo@sjc.ne.jp

センター所在地



【事務所】天童市老野森二丁目6-3
市総合福祉センター2階

■入会説明会
と
き

1月24日(水)
2月5日(月)・20日(火)
午前10時
ところ 市総合福祉センター

〜シルバー会員募集中〜

お知らせ

ホームページをご覧ください。

<https://webc.sjc.ne.jp/tendo/>

天童市シルバー人材センター

検索

広報委員会
大泉 邦男 庄司 豊子
佐久間 京子 伊藤 寛二
賀詞 松山 一男 会員
表紙 森村 慎一 会員
絵 松山 一男 会員

■明けましておめでとうござい
います。会員各位には、取
材及び寄稿で多大なご協力
をいただき、広報委員一同
心から感謝しております。
■今号は「天童市シルバー人
材センター」を市内の多く
の方々に、これまで以上に
知っていただき、身近な
「センター」になれるよう
願いを込めてセンター紹介
の紙面を多めにしました。
■高齢者には教育(今日行く
ところが)と教養(今日行く
日用事がある)が必要と聞
いたことがあります。大事
なことは外に出ることです
私達会員には、センターか
らいただいた「仕事」が
あります。今日行くところ
ろがあるのです。働く中
で様々な用事も出てきます。
会員の皆さんは毎日「目標
達成」に向けて頑張ってい
ます。
■皆様にとって、今年もよい
年でありませうに心より
お祈り申し上げます。
(大泉 記)

